

平成 31 年度使用高等学校
(第 1 部)
教科書編集趣意書
外国語 (英語会話) 編

目次

	ページ
002 東書 Hello there! English Conversation	1
015 三省堂 SELECT English Conversation	3
061 啓林館 Sailing English Conversation	5
109 文英堂 My Passport English Conversation	7

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
2 東 書	英会 301	Hello there! English Conversation 代表著作者 酒井 志延

◆編集の基本方針と留意点

1. 家庭 ,学校 ,社会における身近な話題について会話する能力を ,段階的に指導しやすくする。
2. 海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話する言語活動を重点的に行えるようする。
3. 題材は対話形式を中心とするが ,自分の考えなどを相手に伝えることができるようにするために ,ある程度のまとまりを持った英語で練習する機会も用意する。
4. 生涯に渡って自ら学び ,成長していく学習者を育てるため ,自律的学習や協働学習のスタイルを無理のない範囲で取り入れる。
5. 生徒が場面設定を理解しやすく ,かつ楽しく学習できるようにする。

◆各 Lesson の構成と内容

1. Break the Ice! リスニングとペア・グループワークで導入。
2. Dialog 学習する表現を自然な文脈の中に組み込んだ対話文。
 - a) 表現 学習のポイントとなる表現。
 - b) Do You Understand? 本文の内容理解を確認。
 - c) Sound Advice 音読・聞き取りのポイントを図示。
 - d) Try It Out! 学習目標とする基本的な表現を定着させる練習問題。
3. Let's Listen! Dialog に続く場面でリスニング。
 - a) Did You Get It? リスニング本文の内容理解を確認。
 - b) 聞き取りのポイント 聞き取る前に内容をある程度予想。
 - c) Mini-Dictogloss 協働学習スタイルのディクテーション。
4. Communication Workshop テーマを踏まえた総合的なコミュニケーション活動。
5. Communication Strategy 相手と適切にコミュニケーションを図るための豆知識。

◆補充教材

- 1 . Listen Up オーセンティックな英語でリスニング。
- 2 . Sakura's Adventure 海外での日常生活に役立つ会話表現を学習。

◆参考資料

Conversation Starters (教室英語と「学習振り返りチェックリスト」) , Listening Tips , Game , 「日本の名所を紹介してみよう」 , Rhythm Drill を設けた。

◆教材配当一覧

Unit	Lesson	タイトルとトピック	表現
Unit 1 Introductions	Lesson 1	Nice to Meet You (自己紹介)	自分を紹介する / きき返す / あいさつをする / 意味を尋ねる・説明する
	Lesson 2	Hello, Friends! (友達の紹介)	許可を求める・与える / 相手について尋ねる・答える / リストアップする
	Listen Up 1	1. Self-introductions (自己紹介) 2. School Life (学校紹介)	
	Sakura's Adventure Episode 1	At Immigration (入国審査)	
Unit 2 My Interests	Lesson 3	My Favorite Music (音楽)	意見を言う / リストアップする(列挙して説明)
	Lesson 4	What Are You Crazy about? (スポーツ)	リアストアップする(理由) / 興味・関心を伝える / 誘う・誘いを断る
	Listen Up 2	1. What Kind of Movies Do You Like? (映画) 2. <i>Take Me Out to the Ball Game</i> (DJ 番組)	
	Sakura's Adventure Episode 2	How about Going Shopping? (買い物)	
Unit 3 Food & Health	Lesson 5	A Friendly Potluck Dinner (パーティー)	許可を求める・許可する・許可しない / 説明する
	Lesson 6	Are You All Right? (健康)	同情する / 事情を理解する / 助言する
	Listen Up 3	1. Talk Radio WWBC (ニュースと商品広告) 2. International Dessert Fair (ケーブルテレビの番組)	
	Sakura's Adventure Episode 3	At a Restaurant (食事)	
Unit 4 My Beautiful Community	Lesson 7	Talking about Our Town (街の紹介)	描写する(距離・方角・場所の特徴)
	Lesson 8	Traditional Culture(日 本と世界の伝統文化)	予定を尋ねる・答える / 習慣を尋ねる / 説明する
	Listen Up 4	1. Aloha! (アロハシャツの由来) 2. <i>Napolitan</i> (ナポリタンの由来)	
	Sakura's Adventure Episode 4	Getting Lost (道案内)	
Unit 5 Future	Lesson 9	Equal Roles (家庭)	感想・感情を述べる
	Lesson 10	Helping Each Other (国際貢献)	推測する・主張する / 描写する
	Listen Up 5	1. Mike, the Friendly Taxi Driver (仕事) 2. At a Car Dealer (環境問題)	

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation 代表著作者 北出 亮

◆編集の基本方針

本教科書は、身近なことについて英語で聞き、話す能力を身につけることを目標に編集した。高等学校の教室で音声としての英語を扱うという観点から、独自の指導パターンを採用している。

編集上の留意点と特色

1. 題材内容

生徒の日常生活に身近な、あいさつ、道案内、天気、買い物といった日常会話から、将来の夢、余暇の過ごし方といった自分の意見を発表するものまで取り上げた。

2. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様なコミュニケーション活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は、表現活動に活用するという観点から精選し、基本的なものを扱うにとどめた。
- 3) 「単語・連語」は、中学校における既習語を中心に基本的なものを取り上げた。

3. 言語活動

- 1) 言語活動は、Key Expressions, Interview, Presentation, Challenge などに言語の「使用場面」を具体的に示すと共に、「聞く」「話す」を中心とした4つのコミュニケーション活動が有機的に関連づけられるように工夫した。
- 2) 形式は、1対1の対話を中心として、スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー、ロールプレイを採り入れた。
- 3) 「言語の働き」に留意し、会話で多用される表現について中学校の学習を踏まえながら、基本的なものを精選し、系統的に扱った。

◆教科書全体の構成

1. 本課 次ページを参照。
2. 亜紀と拓の留学日記 生徒が海外で生活する際に必要な基本表現を場面別に取り上げ、生活に役立つ表現を学習するほか、異文化の違いも学ぶ。
3. Games in English 英語を聞いて表に書き込む、イラストを選ぶなど、ゲームを通してタスクを行う。
4. 付録 「教室で使う表現」「よく使う会話表現」など

◆本課の構成

KEY EXPRESSIONS	①KEY EXPRESSIONS	その課で学習する基本表現を提示する。
	②CHECK	KEY EXPRESSIONSの中から特に基本的な表現を確認する。
	③POINTS	KEY EXPRESSIONSの中で使用されている主な「文型・文法」項目を簡潔にまとめた。
	④SOUNDS	KEY EXPRESSIONSの中から文を取り上げ、イントネーション、強勢(ストレス)、リズム、音の連結、区切りを扱った。
LISTENING	①WARM-UP	次のLISTENINGの準備のため、語句レベルのリスニングを行う。
	②LISTENING	基本表現をアレンジし、それを聞き取る練習を行う。
COMMUNICATION	①SPEAKING	基本表現を用いて自分の話したいことをメモし、それを口頭で発表する練習を行う。
	②INTERVIEW ROLE PLAY PAIR WORK	ペアやグループを作り、既に学習した基本表現を用いて話し合う練習を行う。インタビュー、ロールプレイなどの活動を必要に応じて配置した。
	③PRESENTATION	インタビュー活動の結果をメモし、そのメモを元にクラス全体または数人のグループの中で簡単なスピーチを行う。
CHALLENGE!!	基本表現を用いた実際の会話の例を使って、ロールプレイや内容理解のリスニング活動を行う。	

◆教材内容

課	タイトル	内容/場面	主な言語の「働き」	言語材料
	スターになって自己紹介	自己紹介ゲーム	あいさつする/紹介する	
1	New Friends	興味のあるものを言う	紹介する/説明する	未来表現/不定詞(名詞用法)
2	Free time	余暇について話す	質問する/説明する	現在形/過去形
3	Are You Okay?	体調について話す	説明する/助言する	助動詞 should
	亜紀と拓の留学日記1 The Host Family's House	ホームステイ先でのあいさつ		
	Games in English 1: Square Game	英語でゲーム その1	命令する/命令をきく	
4	Our School	学校について話す	説明する/理由を述べる	There is/are ~.
5	Weather	天候・気候について話す	情報を伝える	助動詞 will
6	TV Programs	自分の好みを言う	好みをたずね、答える	動名詞
	亜紀と拓の留学日記2 Helping the Family	日常生活での会話		
	Games in English 2: Guess What! Game	英語でゲーム その2	説明する/推論する	
7	Talking on a Cell Phone	携帯電話を使った特有の表現	依頼する/承諾する/拒否する/説明する	現在完了形
8	Telling the Way	道案内をする	依頼する/説明する/助言する/命令する	SVOO
	亜紀と拓の留学日記3 School Life	学校での会話		
9	Kyoto	交通機関での行き方をたずねる	説明する/助言する	How long ~ ?
10	Shopping	欲しいものを買う	依頼する/提案する/承諾する/拒否する	現在進行形 SV(be以外)C
11	Restaurant	レストランで食事を注文する	依頼する/助言する/承諾する/拒否する	不定詞(形容詞用法)
	亜紀と拓の留学日記4 Enjoying Holidays	観光での会話		
	Games in English 3: Math Bingo Game	英語でゲーム その3	報告する	数式の言い方
12	Making a Plan	待ち合わせの約束をする	誘う/相づちを打つ/承諾する/拒否する	Let's ~. Shall we ~ ?
13	Future Jobs	将来やりたいことを話す	説明する/理由を述べる	Why~? - Because... 不定詞(副詞用法)
	付録	教室で使う表現、よく使う会話表現		

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
61 啓林館	英会 303	Sailing English Conversation 代表著作者 八島 智子

●編集の基本方針

楽しみながら学習できる話題を提供する。

ことばを使う場面と、ことばの働きをわかりやすく提示する。

幅広いコミュニケーション活動の機会を提供する。

異文化を理解し、尊重する態度を育成する。

●編集上の留意点

生徒のコミュニケーションの目的や興味・関心に合った話題・場面を集めた。

英語の難易度・量、題材の内容を易から難に徐々に移行するように配列した。

「聞く」「話す」活動をバランスよく配し、バラエティーに富んだ活動ができるようにした。

「聞く」「話す」だけでなく、「読む」「書く」も含め4技能を有機的に扱えるように配慮した。

現代の標準的なアメリカ英語を基本とし、ネイティブスピーカーと密接な共同作業を行った。

写真、イラスト、グラフなどを豊富に入れ、カラー印刷によって魅力ある紙面構成にした。

●課の構成とねらい

<UNIT 1>

本課へ入る前の準備として、基礎的なリスニングとスピーキングの問題を配した。

<UNIT 2>

さまざまな場面を通して、ことばの働きに注意しながら学習ができるように配慮した。

各課は6ページ構成。

1ページ目：【オープニング】話題の導入や動機づけを助ける。

2ページ目：【START】基本的な語彙・表現の演習。

3ページ目：【1st TRIAL】リスニング演習 スピーキング演習で構成。

4ページ目：【2nd TRIAL】リスニング演習 スピーキング演習で構成。1st TRIAL よりも難易度が高く、バラエティーに富んだ内容を心がけた。

5ページ目：【CHALLENGE】「読む」「書く」などの活動も盛り込んだ総合的な演習。

6ページ目：【SOUND PRACTICE】音声について演習形式で学習できるようにした。

【Plus One Listening】やや難易度の高いリスニングの演習問題。

<UNIT 3>

発展的な学習として、UNIT 2 までの復習をしながら個人やグループで演習を行えるようにした。

●教材内容

	課	課 名	内 容
U N I T 1	1	English Around the World	自己紹介
	2	People Around Us	他人紹介
U N I T 2	1	What Day Is Convenient for You?	学校生活／予定を述べる
		SOUND PRACTICE 1 (英語の音) / Plus One Listening (会話の場所推測)	
	2	How Was Last Sunday?	週末の出来事／質問する・後悔する
		SOUND PRACTICE 2 (アクセント・リズム) / Plus One Listening (レシピ)	
	3	Could I Have an Extra Blanket?	機内／依頼する・禁止する
		SOUND PRACTICE 3 (イントネーション) / Plus One Listening (天気予報)	
	4	Who's Calling, Please?	電話／誘う
		SOUND PRACTICE 4 (短縮形) / Plus One Listening (電話案内)	
	5	How Can I Get There?	道案内／感謝する
		SOUND PRACTICE 5 (弱くなる音) / Plus One Listening (家具の配置)	
Show & Tell			
6	May I Help You?	ショッピング／情報を得る	
	SOUND PRACTICE 6 (母音) / Plus One Listening (コマーシャル)		
7	You Look Nice in That Dress!	パーティー／ほめる・描写する	
	SOUND PRACTICE 7 (子音) / Plus One Listening (面接後の話し合い)		
8	I'm Not Feeling Well	病院／体調を述べる・助言する	
	SOUND PRACTICE 8 (つながる音) / Plus One Listening (ニュース)		
9	I Want to Be a Diplomat	職業／未来について述べる・希望を述べる	
	SOUND PRACTICE 9 (変わる音) / Plus One Listening (新聞広告に応募する)		
10	Do You Share the Housework?	家事／意見を述べる・話を付け加える	
	SOUND PRACTICE 10 (聞こえなくなる音) / Plus One Listening (講義)		
Listening Test			
U N I T 3		Our School Life Studying Abroad Case Studies	学校生活で有用な表現 留学先での意思伝達 意見のまとめ・発表
巻末	表現のまとめ		
	Word Gallery		

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
109 文英堂	英会 304	<p style="text-align: center;">My Passport English Conversation</p> <p style="text-align: center;">代表著作者 倉持三郎・川端一男・田所メアリー</p>

編集の基本方針・教科書の特徴

本書は教育基本法第2条に示された目標を達成することを目指し、平成21年告示の高等学校学習指導要領に基づいて編集された。学習指導要領に示された「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う」ことを目標に、学習を楽しいものにさせ、英語への関心を高めるように工夫した。なお、コミュニケーション活動はやさしく基本的なものを中心にした。また、外国語科の目標である「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」を念頭に、国内外を問わず広く関心を寄せられるような内容や活動を取り入れた。

各課の構成

正課は、TALK IT UP(2 ページ)→LISTEN UP(1 ページ)→TRY IT OUT(1 ページ) とした。TALK IT UP 第1 ページ目には、5, 6 往復程度の会話文を置いた。その会話文の内容を問う正誤問題を各課2問、会話の挿絵を見て内容の正誤を答える問題を各課1問ずつリスニング形式で配置した。また One-point Corner では、話したり聞いたりする際に重要となる音声上のポイントを各課1項目ずつ取り上げ、簡単な解説と練習問題を置いた。

TALK IT UP 第2 ページ目の KEY EXPRESSIONS は、第1 ページの会話文で出た機能表現を各課2つ取り上げ、置き換え練習により定着させることを目的とし、YOUR TURN は、与えられた資料を使い生徒自身の会話を作成することで応用力を養うことを目的としている。LISTEN UP は本課の話題に関連したトピックにからめたりリスニングの場とした。イラストを使って答えさせる問題、会話文や説明文を聞いて答えさせる問題など、いろいろな形式を取り入れ、リスニング能力の向上を目的とした。

TRY IT OUT は STEP 1 で資料を基に簡単な質問に答え、その答えを STEP 2 の場面英会話に反映させることで、自由に活発な会話練習ができることを目標としている。STEP 1 で用いる資料はできるだけ課のトピックに合わせ、実際のものに近くなるよう配慮した。本課で扱いきれなかった情報を補うため、CULTURE TALK を10箇所設けた。異文化情報を学ぶとともに、本課で学習できなかった場面英会話の練習や発表練習ができる場とした。巻末付録に 話すとき聞くときの注意点、 TRY IT OUT の訳例、 Picture Dictionary、機能表現のまとめを置いた。

教材配当表

課	題 名	トピック	機能表現
1	Making Conversation	自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介するとき ・ 職業をたずねるとき
CULTURE TALK 1 Family Introduction 家族の紹介, 名前			
2	At the Hotel	ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼するとき ・ 時間をたずねるとき
CULTURE TALK 2 Body Language / Quick Responses ボディーランゲージ, とっさに出る言葉			
3	Going Sightseeing	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行き方をたずねるとき ・ 所要時間をたずねるとき
CULTURE TALK 3 Schedule 数字, 序数, 月, 曜日, 時間			
4	Small Business	郵便局・銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望を伝えるとき ・ 提案するとき
CULTURE TALK 4 Telephone 電話の応答			
5	Eating Out	外食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注文するとき ・ 料金をたずねるとき
CULTURE TALK 5 Letters / E-mail 手紙, Eメール			
6	Going Shopping	買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほかのサイズや色があるかたずねるとき ・ 試着してもよいかたずねるとき
CULTURE TALK 6 School Life 制服, 学校行事			
7	Public Transportation	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所をたずねるとき ・ アドバイスをするとき
CULTURE TALK 7 Japanese Manners / Katakana Words 日本の習慣, カタカナ語			
8	Getting Help	トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の様子をたずねるとき ・ 言いかえるとき
CULTURE TALK 8 Traditional and Pop Culture 伝統文化, ポップカルチャー			
9	Going Out	行楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誘うとき ・ 念を押すとき
CULTURE TALK 9 Origami 折り紙			
10	Taking a Flight	空港・飛行機内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好ましくないことを伝えるとき ・ 理由をたずねるとき
CULTURE TALK 10 Cooking 料理			